



学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」
～ 認め合い、学び合い、共に育つ ～

<目指す児童像>

かしこい子 (知) 明るい子 (徳) たくましい子 (体)

コミュニケーションを図ることにより、

互いを認め、高め合い、ともに伸びる子

TEL 663-7005

FAX 663-9886

平成30年 3月 1日第11号

大砂土小学校 ホームページアドレス <http://osato-e.saitama-city.ed.jp/> メールアドレス osato-e@saitama-city.ed.jp

心のメダルは何色ですか？ 校長 書上 敦志

春一番が待ち遠しい今日この頃、学校のしだれ梅も薄紅色の花びらを一輪また一輪と開き始めました。お隣の韓国で開催された平昌オリンピックでは、チーム日本のアスリートたちが史上最高の13個のメダルを獲得して閉幕しました。羽生結弦選手復活、女子団体パシュート金メダル、カーリング女子銅メダル…数々の感動シーンが思い出されます。カーリングの藤澤選手はメンタルトレーニングを取り入れ、自分の感情を素直に表現することで笑顔を絶やさずプレーできるようになったそうです。笑顔のパワーは凄いですね。

先日、さいたま市教育委員の平澤奈古委員が本校を訪れ、3年生に講話をしてくださいました。3年生は、けやきの時間に「どんな人に対しても思いやりの心を持てるように」と福祉教育について学んでいるところでした。平澤委員は、パラリンピック・アテネ大会車椅子アーチェリーの銅メダリストです。ご自身の車椅子アーチェリーとの出会いやパラリンピック代表となるまでの頑張りについて、また、様々な障害のあるアスリートを紹介され、どんな障害があろうともあきらめないことの大切さなどをお話してくださいました。最後に、平澤委員から大砂土っ子へメッセージをいただきました。「やりたいことを見つけてがんばること」「がんばる人を見たら応援してあげること」3年生の子どもたちは、本物の銅メダルを間近に見て、お礼を言ったり、感想を述べたりして感謝の気持ちを表していました。なかには「自分も〇〇を頑張ります。」と決意表明をしている頼もしい大砂土っ子もいました。ご自身で努力され大きな目標を達成された方のお話は子どもたちの心に伝わるものですね。子どもたちはたくさん夢と勇気をいただきました。笑顔で子どもたちにお話しされるお姿はメダル同様輝いてみえました。この一年、大砂土っ子の一人ひとりも、得意な種目で、きっとオリンピック選手のメダルと同じような価値のあるメダルを手にしたことだと思います。そのメダルをさらに輝やかせるために、こつこつと努力を重ねてもらいたいものです。



先日の授業参観・懇談会ありがとうございました。学習発表会や学年合同音楽会、二分の一成人式など学年ごとに1年間の成長をご覧いただきました。今日は6年生巣立ちの会。「本気216」小学校生活を間もなく終える6年生一人ひとりの胸に輝くメダルは何色だったのでしょうか。1年生から5年生も新たな学年に進級です。2月27日には、「6年生を送る会」がありました。6年生の卒業を祝い、大砂土っ子のありがとうと笑顔がいっぱいの心あたたまる風が吹きました。きっと6年生が築いた大砂土小学校のよい伝統を受け継いでくれることでしょう。22日の朝、卒業証書授与式前に、校庭で「お別れ式」を行います。卒業生と最後のお別れです。これまで多くの卒業生たちが母校である大砂土小学校からはばたいていきました。144回目のバトンの受け渡しも立派に行われ、大砂土小学校の歴史と伝統が145年目に繋がることを教職員一同、心より願っております。

【学校教育ビジョン：「夢いっぱい 笑顔いっぱい ひとみ輝く大砂土っ子」の育成】